創立50周年　香我美小学校

～きらっ！と　わくわく　やさしい風ふく　香我美小～

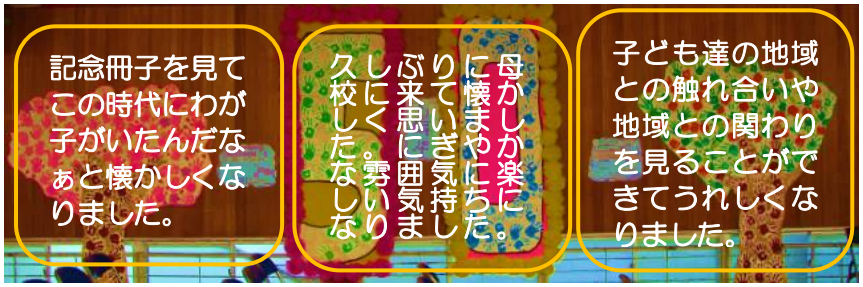
みかん

香我美小学校だより　第32号
令和8年2月17日
校長　岡崎　恵子

祝・50周年！
この感動を、次なる一歩のエネルギーに

創立50周年記念行事が、無事に、そして思い出となる場面を“ぎゅっと”と詰めこんで幕を閉じました。終わってしまうのが寂しく感じられるほど、当日は温かく、エネルギーが満ちあふれていたように思います。

子ども達の取り組む姿、懐かしい学校を楽しもうと多くの保護者・地域の皆様にご来校いただき、たくさんの声もきかせていただきました。



子ども達は、地域・保護者の皆様と過ごす時間を「わくわく」しながら楽しみ、記念バッジを誇らしげに付けた子ども達はいつも以上に“きらっと”輝いていました。

行事は終わりましたが、これはゴールではありません。

50周年の熱気はそのままに、私たちは今、次なるスタートラインに立っています。この行事で生まれた「つながり」「挑戦」「発見」「自信」そして「心を耕す」を糧に、これからも「きらっと　わくわく　やさしい風ふく学校」を皆様と共に創っていきたいと思います。

素晴らしい時間を共有してくださったすべての皆様に、心からの感謝をこめて。ありがとうございました！

【記念行事式典　児童代表挨拶より】

香我美小「未来への展望」

香我美小学校は創立 50 周年という輝かしい節目を迎えました。半世紀にわたり、地域に根ざし、多くの子ども達を育んできた母校を私たちは誇らしく思います。

本日、校歌斉唱の宮地先生の指揮のもと、皆様と一緒に斉唱した校歌の歌詞の意味を私たちは考えました。この歌詞には、「自然豊かな環境の中で学び、心と身体がのびのびと健やかに力強く育ってほしい」という願いが込められています。

そして、ここに掲げられている「耕心」は５０年前の創立以来、私たちの学校が大切に守り続けた精神です。「知識を学ぶだけでなく、豊かな心を耕し、深みのある人間へと成長してほしい」そんな願いが、この言葉に込められています。長い年月の間、地域の方々、先生方は、私たちの学び舎をそして、私たちの心を温かく耕し続けてくださいました。

僕の父も兄も姉も香我美小学校の卒業生です。そして、今、僕がここに立っています。家族みんなが通い学んだこの学校がこれからもずっとみんなの大切な学校であり続けてほしいと思います。これからの50年後も100年後もみんなの笑顔があふれる学校であり続けてほしいと願っています。

私たちは、これからも自らの可能性を信じて、一歩ずつ自分の心を耕し続けていくことを誓います。

６年　別役かんび　中川あさひ
塩次ひな　横田ここな

地域と共に歩む「私たちの学校」

PTA 役員の皆様、行事に携わってくださった地域の団体の皆様には、華やかな舞台の演出、裏側からのサポート、最後の片付けにいたるまで、お力添えをいただきました。皆様の汗を流してくださる姿に、地域に愛され、支えられているかを改めて実感し、感謝の念に堪えません。

また、中学生からの「応援メッセージ動画」「中学３年生作成のベンチ寄贈」には、卒業してもなお母校を思う温かい絆を感じさせられました。

本校が「地域の中の学校」であるということを実感し、その素晴らしさを再確認しています。

本当にありがとうございました。